

Let's！乗馬 【体験レポート】



広報担当's Voice

馬の里で乗馬を初体験。キャンディ(22歳)がお相手してくれた。騎乗体操から始まり、発進や停止、方向転換の仕方を順に学ぶ。馬特有の揺れにも次第に慣れ、バランスも取れるようになってきた…というよりキャンディが僕に合わせてくれている感じ。20分も意外に長く感じるほど充実したひととき。また来よう。



1 調教のため、朝から日中にかけて施設内を休む間もなく馬が行き来する。2 広大な敷地に、馬育成のための全国随一の施設や設備が広がる。3 クラブハウスは、外の景色を眺めながら自由にくつろぐことができる。4 県道土淵達曾部線から見える石造りの看板が目印。



インストラクター's Voice

遠野馬の里 ホースパーク担当
小林立栄さん

馬は乗るだけでなく、そばに居たり、触れ合ったりするだけでも癒やしを与えてくれます。乗馬で養うバランス力は適度な運動にもなっています。乗馬は心と体にとってもいいものです。ぜひ体験してみてください。馬の里のホースパークは見学自由で、クラブハウスも開放しています。気軽に利用してください。



場は上々の出来でした。いい馬を育てて売ろうとする生産者たちの地道な努力や姿勢が少しずつ実を結んできています。遠野の馬を購入していただいたお客さまの評価が、次の年の市場の評価につながります。調教する職員の技術向上と養成に取り組みながら、この施設がいれば遠野産馬の発信・供給基地となるように、さらに知名度を上げる取り組み

馬の里開設時から、馬の質向上や、職員の技術向上に尽力する千葉祥一振興課長



馬に関する国内随一の施設は、市民も気軽に利用できる。施設内の見学は無料で、乗馬は市民限定で20分1000円の格安で利用できる。覆馬場があるため天候に左右されずオールシーズン利用が可能。全国有数の施設を、ぜひ体感してほしい。

最近ではホースセラピーなど、馬との触れ合いによる癒やしの効果が期待され、馬の里施設は市内の保育園や老人クラブにも多く利用されている。また、不安定な馬の上でバランスを取る動きは全身運動につながる。ことから、乗馬人気も高まっている。馬の里ホースパークでは、乗馬はもちろんのこと、引き馬やポニーの演技を披露するなど、馬との触れ合いの場を数多く提供している。もちろん、出張しての触れ合いサービスにも対応可能。

馬との触れ合いを提供

をしていきたいです」と力を込める。

高まる評価と期待

平成10年3月、松崎町駒木にオープンした「遠野馬の里」(以下、馬の里)。1周975mの走路、ウッドチップが敷かれた895mの屋根付き坂路馬場、天候を気にせず乗馬が可能な覆馬場など、国内有数の設備を有し、現在の「馬産地・遠野」を象徴する施設となっている。ここでは、▽競走馬育成調教施設の管理▽乗用馬の育成調教▽乗用馬と農用馬の繁殖改良▽乗用馬ふれあい事業の四つを柱に運営が行われている。その中でも力を入れているのが、乗用馬の育成調教。馬の里を会場に行われる本州唯一の馬の競り市「乗用馬市場」に向け、1歳馬は開催の2週間前から、2歳馬以上は1年間を掛けて同施設で調教する。基礎調

教を積むことで、乗用馬の質の向上が図られるとともに、生産者の負担も軽減された。市乗用馬生産組合の菊池栄喜組合長は「馬の里ができるまでは多くの生産者が、競りに出す馬を自分たちで調教しなければいけなかった。市場当日は、初めての場所に馬が落ち着かず、自分の馬でさえ暴れて扱えないような状況だった」と振り返る。今年6月には、かつて馬の里で1歳の基礎調教を受け、遠野市乗用馬市場で日本中央競馬会(JRA)が落札した遠野産馬「ハリーベ」が馬術国際大会で優勝し、馬産地遠野の育成・調教技術の評価はさらに高まった。「馬の里」開設時から、馬の育成調教のほか、職員養成にも携わってきた千葉祥一振興課長は「今年の市

全国有数の馬産地として知られる遠野。良質な馬の生産・育成とともに、馬を活かしたまちづくりが進められている

馬産地遠野 今、未来